

タイトル（検討中）：

生活音を利用した朝の正確なタスク時間管理

助川 友理

Yuri Sukegawa

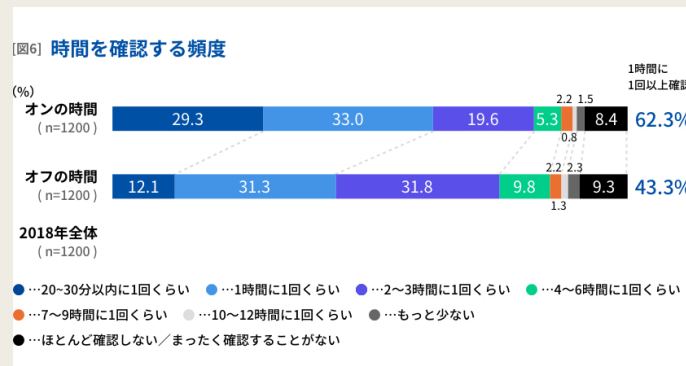
suke@ht.sfc.keio.ac.jp

About(題名同様に色が付いている部分)

朝の時間を自分で正確に把握し行動に移す事は難しいです。そこでウェアラブル端末を用いて生活音を収集し朝の各タスクにかかる想定時間と実際の時間の差を計測する事によって正確な時間把握をサポートしていきます。

Background

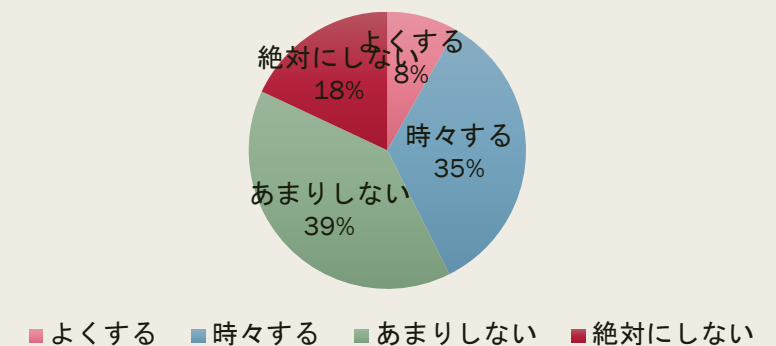
- 私達が自ら時間を正確に把握し、伴った行動をするのは難しいです。特に朝は出る時間と起きる時間以外明確な時間が決まっていない為、定期的に時計を見る以外は感覚時間に頼った自己管理になる事が多いです。正確に時間を管理する事で遅刻の一大要因を解消できると考えられております。



左:セイコー 時間白書2018

右:文京学院大学 女子大学生の遅刻に関する研究

待ち合わせに遅れるかどうか



Approach

- Apple Watchを用いた録音・センサ活用

常時身に着けられ、様々なセンサを搭載しているApple Watchを使用

- Ubicousticsを用いた行動認識分析

生活音を録音し用いる事でApple Watchのみのデバイスで推測が可能

- 時間ごとに記録し目標時間とのずれを比較

定量的な計測によって目標時間とのずれ具合の判断が正確に

開発環境	Mac Book Air(8 GB, IntelCorei5) Mac OS : Mojave10.14
使用言語	Python
使用ライブラリ(どっちか)	Ubicoustics(Python) coreML(iOS向けライブラリ)

Experiments

- 目標時間の設定

起床時間、出る時間、行うタスクと各タスクにかかる時間

- 本システムによる実際の時間の測定

- 評価

定量評価→目標時間・実際の時間のずれを評価、睡眠時間

定性評価→個人属性、時間把握能力（自己認識）、疲労具合のアンケート

Prospects

- 最終目標としては、定期的な時間のリマインダーアプリと併用することによって時計を見る必要なくより正確な時間の自己管理をサポートする事によって遅刻の解消や、朝時間にゆとりを持たせ自己管理不足が引き起こす焦燥感によるストレスの軽減を目標としています。